

「恋する豚をおいしく頂きながら。。。」

第2回講義レポート

講義日：2016年4月14日（木）

氏名：大内 正博

仕事：自営コンサルタント

（東洋大学 PPP 研究センター/リサーチパートナー）

キャンパス：青山

飯田大輔様：

木曜日は非常に興味深い事業と活動についてのご講義をありがとうございました。

翌日、お昼前後の時間を空けることができましたので、車を飛ばして恋する豚研究所に行って、「恋する豚のしゃぶしゃぶ定食」を頂いて参りました。本当に、美味しかったです！



食堂も開放的で気持ちの良い空間でした。スタッフの皆さんの気配り・目配りが行き届いていることにも感心致しました。

豚しゃぶ定食の他に、みかんジュース、トマトジュース、コーヒーを頂きました。接客してくれた女性スタッフの方のお勧めがまた上手であったのでつい追加で注文してしまったのです。

適度なホスピタリティで気持ちよく食事ができました。さらには、スタッフのみなさんそれぞれきびきび動いていらっやって、職場のモチベーションの高さを感じ、それがまた居心地の良さにつながっておりました。

平日のお昼（12時過ぎ）にも拘わらず（そして、失礼ですが、あんな田舎で）20人以上の来店客がおり賑わっておりました。たどり着くまでの道中からは想像できない人数でした。講義では、「年間8万人来場」と伺いましたので、休日には「どれだけ並ぶんだろう？」とリアルに想像できました。

コーヒーを飲みながら、講義の参考資料として配布されていた論文を拝読。産業分類の再定義のご提案は深く感銘し、また、共感を覚えました。

お考えをアカデミックな立場でも提示するのみならず、現場での実践を進めることによって地域をよりよきものにして行こうとする智恵と実践力、そして既存の成功に安住せずさらに新規の事業＝林業にも乗りだそうとするあくなきチャレンジャースピリットに深く尊敬の念を抱きます。

講義でもおっしゃっていたようにイノベーションは現場でこそ起きるわけがあります。

そのために、現場即ち事業の継続が目的の達成までには必要であると思います。どうか事業の継続、がんばって下さい。

「全国展開は考えていない」とおっしゃっていましたが、継続によって、飯田さんのターゲットとする地域が良くなり、その結果、ひいては社会全体を良き方向に変えて行くものと確信します。

私自身も大学の研究の場や経営者の皆様との実践の場を通じて、私自身ができることでもって、陰ながら応援していきたいと考えております。

取り急ぎ、御礼に代えまして。